あの頃、もっと、
自分に素直になればよかった。

書名

たとえば明日、きみの記憶をなくしても

著者名

嶺央

発行所

スターツ出版株式会社

発行年

二〇一六

ストーリー

イケメンで優しい彼氏の雪斗と楽しい学校生活を送っていた高校三年生の乙葉。ある頃から日にちなどを覚えられない自分に気づく。このことが恐くて雪斗に嫌な態度をとってしまう乙葉。それでも乙葉のことが好きだと言ってくれる雪斗のために別れを切り出すが!!。

推薦の言葉(感想やこの本のよさ)

乙葉は記憶を失くす病気になってしまいその恐怖から雪斗に冷たい態度をとってしまったり、どんどん進行していく病気に苦戦していて、読んでいたらすごく泣きそうになりました。

この話は乙葉と雪斗が二人で苦悩や恐怖をのり越えて、幸せへとむかっていくとても感動する話です。ぜひ読んでみてください。

この本を推薦するのは、2年2組　（　佐藤　心佑　）です。